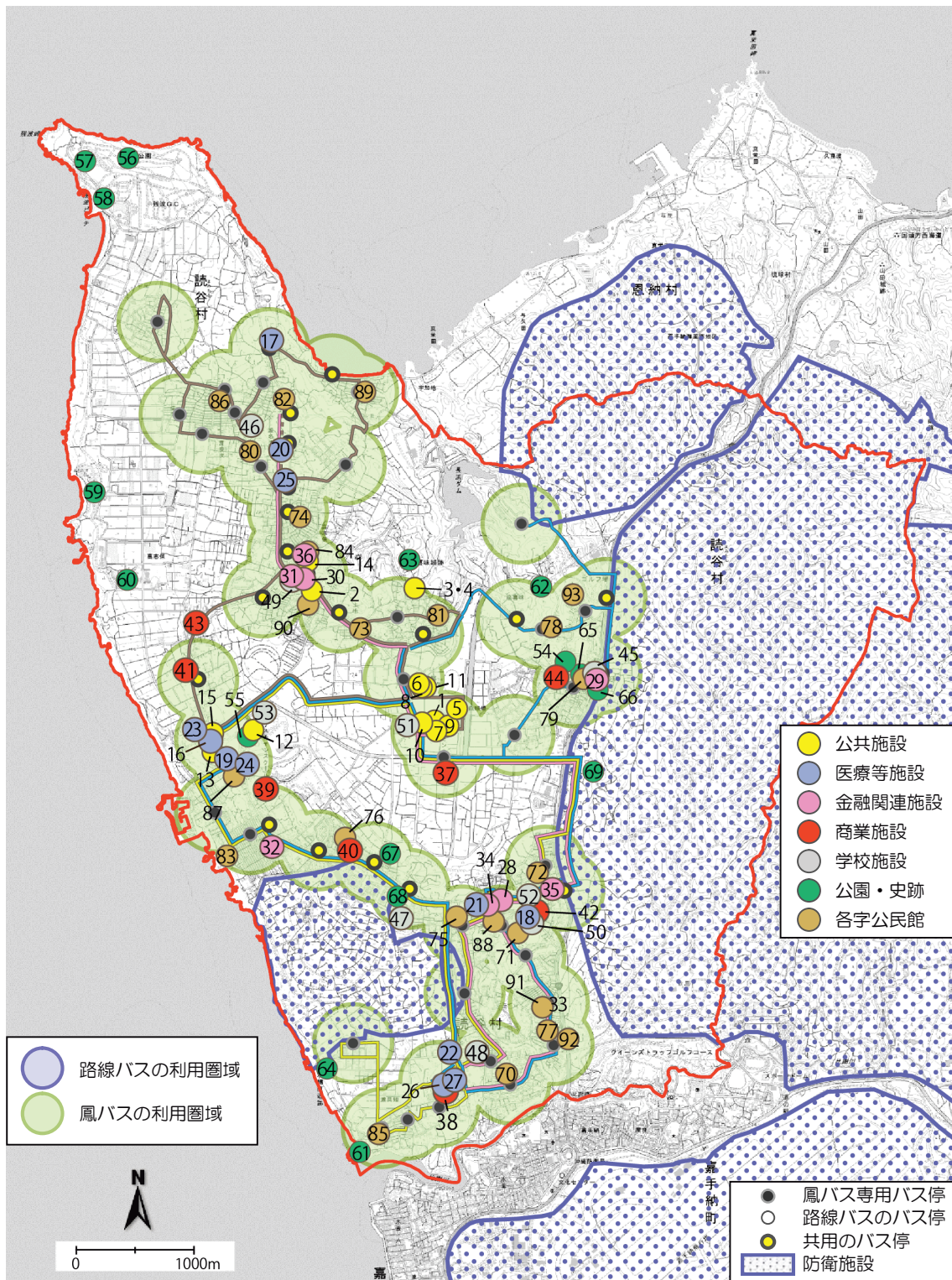


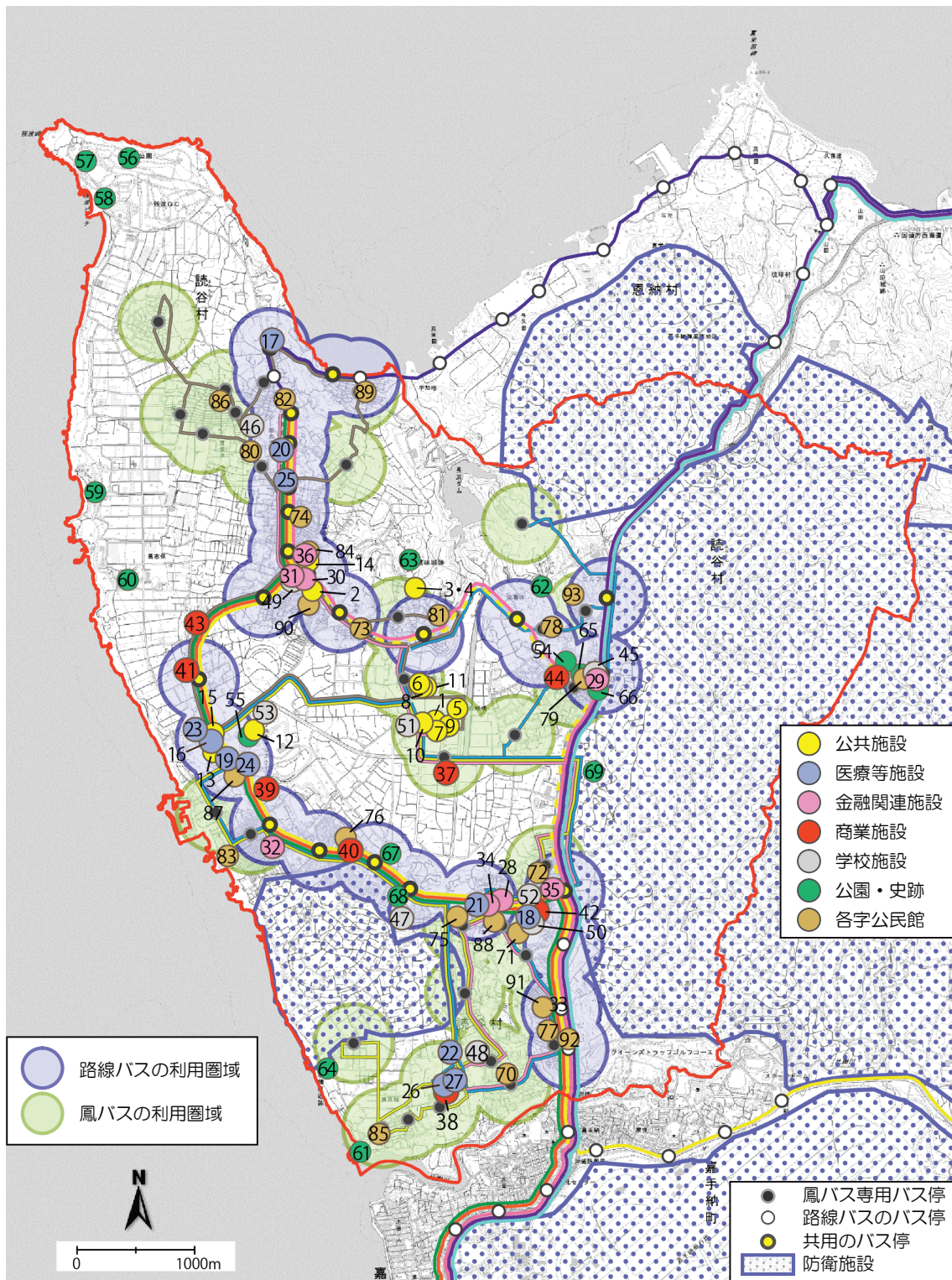
■生活利便施設の立地と公共交通空白地域（鳳バス）



生活利便施設との重ね合わせでは、大半の施設が鳳バスの利用圏内に位置していることがわかる。

公共交通空白地域に位置しているものは、「公園・史跡」が多く、西海岸沿いと残波岬周辺については、鳳バスでのアクセスが難しい状況にある。

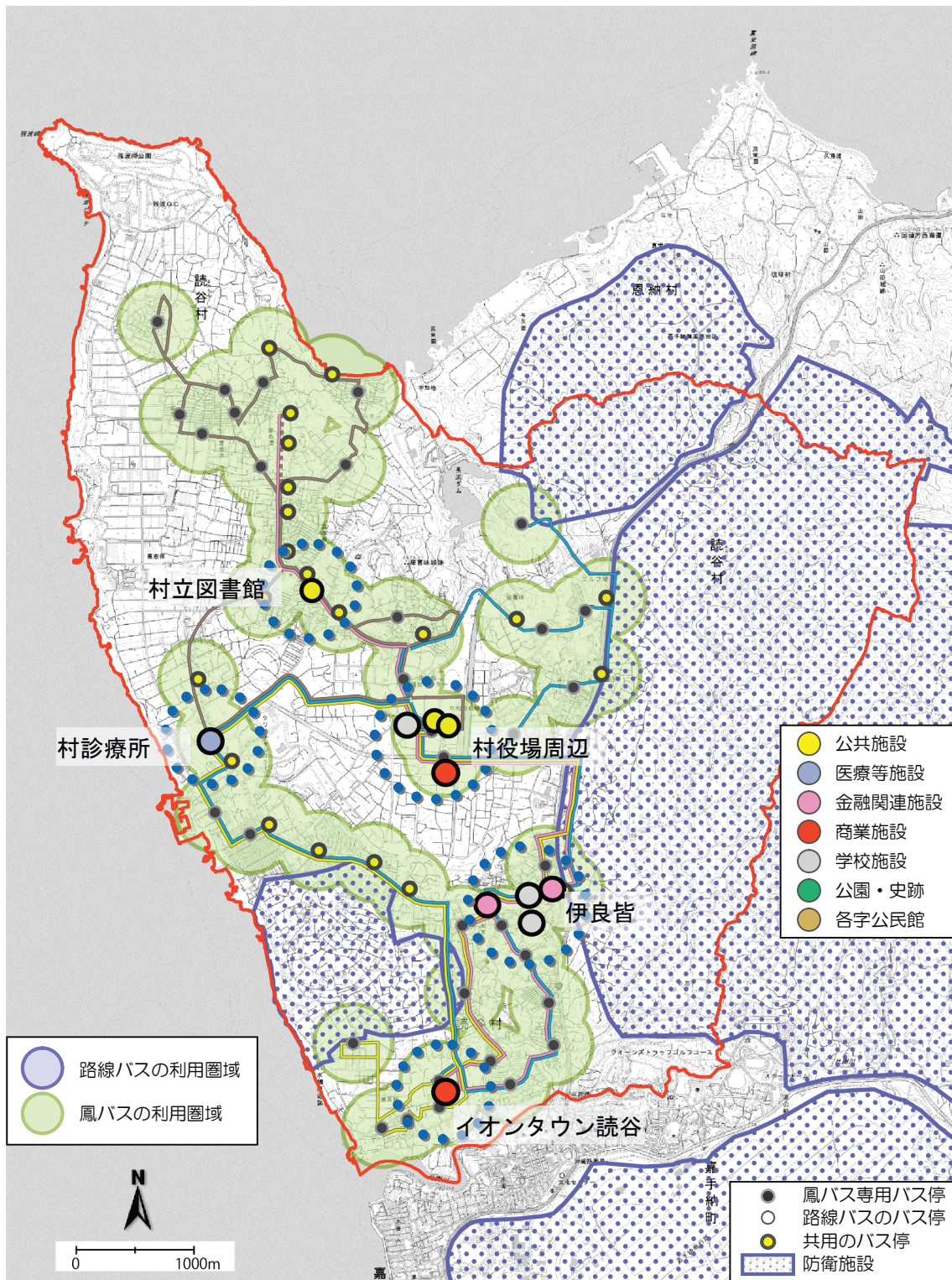
■生活利便施設の立地と公共交通空白地域（鳳バス+路線バス）



路線バスの沿線に施設が集中しているが、路線バスでカバーできていない「村役場周辺」と「イオンタウン読谷」について、鳳バスが運行することにより、バスでのアクセスを可能としている。

西海岸沿いと残波岬周辺については、路線バスのバス停からも離れており、バスでのアクセスが難しい状況にある。

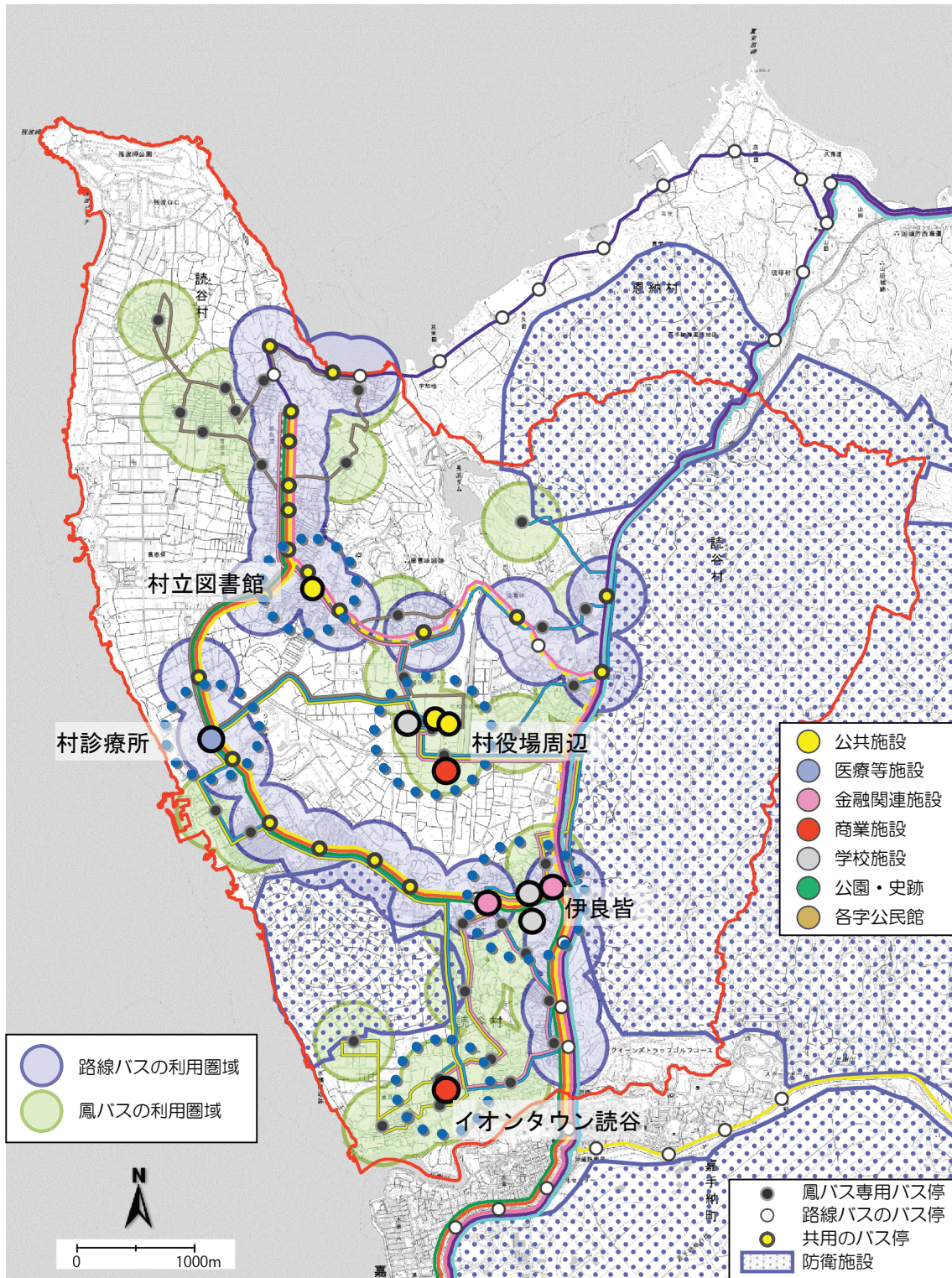
■目的地となる主要な施設の立地と公共交通空白地域（鳳バス）



村民アンケートで「バスで行けると便利だと思う場所」として挙げられた上位 10 施設を鳳バスの利用圏域と重ねたところ、すべての施設が鳳バスの利用圏域内に存在していた。

「村役場周辺」と「伊良皆」については、複数の施設が立地しており、それらに「公立図書館」、「村診療所」、「イオンタウン読谷」を加えた計 5 エリアが、村民の村内移動において主要な目的地になっていると考えられる。

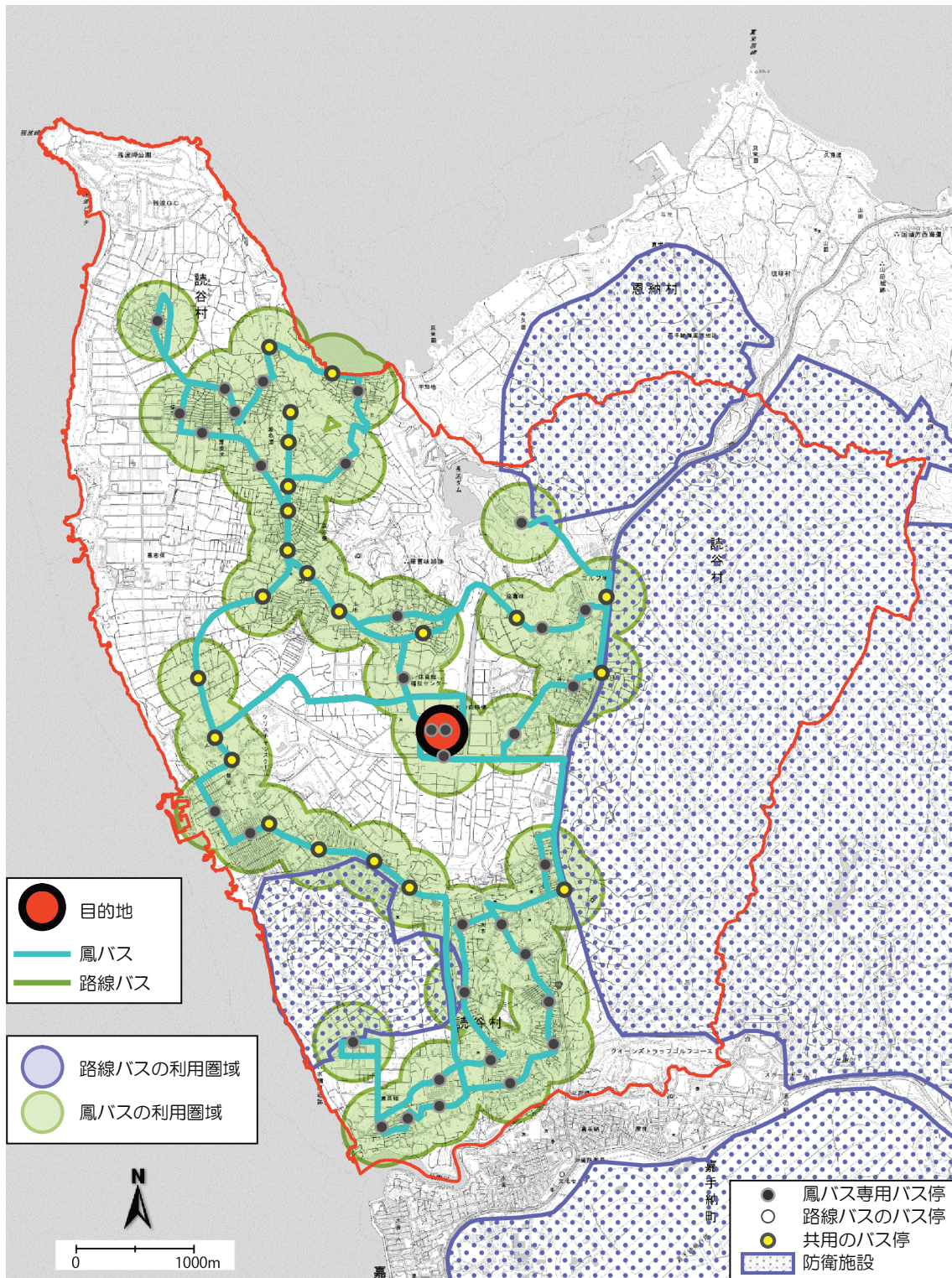
■ 目的地となる主要な施設の立地と公共交通空白地域（鳳バス+路線バス）



5 エリアのうち、路線バスのバス停が利用できるのは「伊良皆」と「村立図書館」、「村診療所」の3 エリアとなる。

これらは、いずれも路線バスの中でも運行本数の多い区間に位置している。特に「伊良皆」は路線の分岐点でもあり、実際の路線バス利用者数も村内では飛び抜けて多いバス停となっている。

■村役場周辺へのアクセス状況と公共交通空白地域（鳳バス：平日）

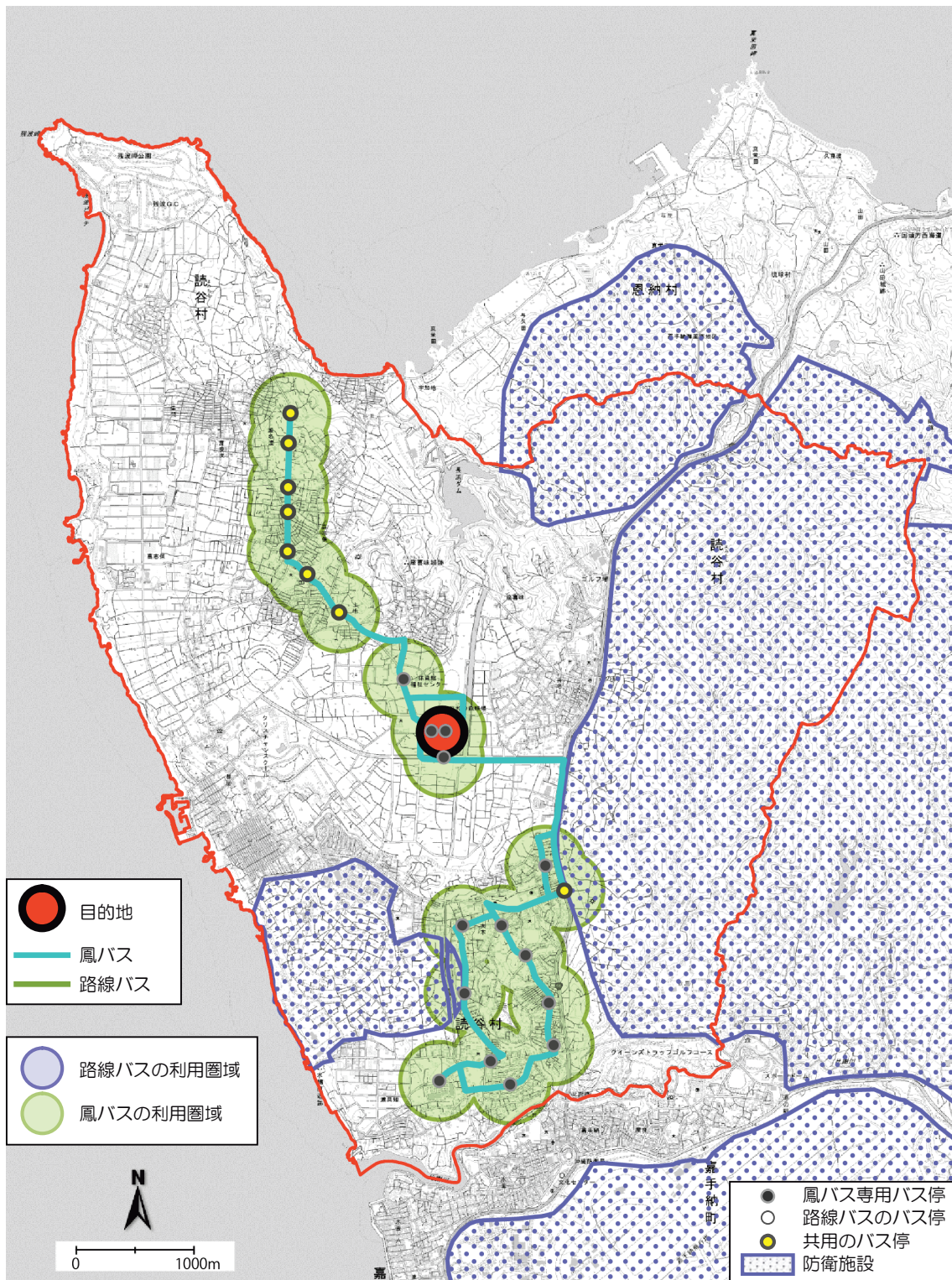


平日の鳳バスはすべての系統が村役場周辺を經由している。なお、村役場を經由する路線バスはなく、最寄りとなる路線バスのバス停（座喜味バス停）は 1km 近く離れている上、運行本数が少なく、利便性が低い。

村役場は、位置的にも本村の中心に位置しているが、鳳バスが運行していることにより、かなりの村民がバスにより村役場周辺へ行けるようになっている。

また、学区の広い読谷中学校の通学バスとしても活用されている。

■村役場周辺へのアクセス状況と公共交通空白地域（鳳バス：土休日）

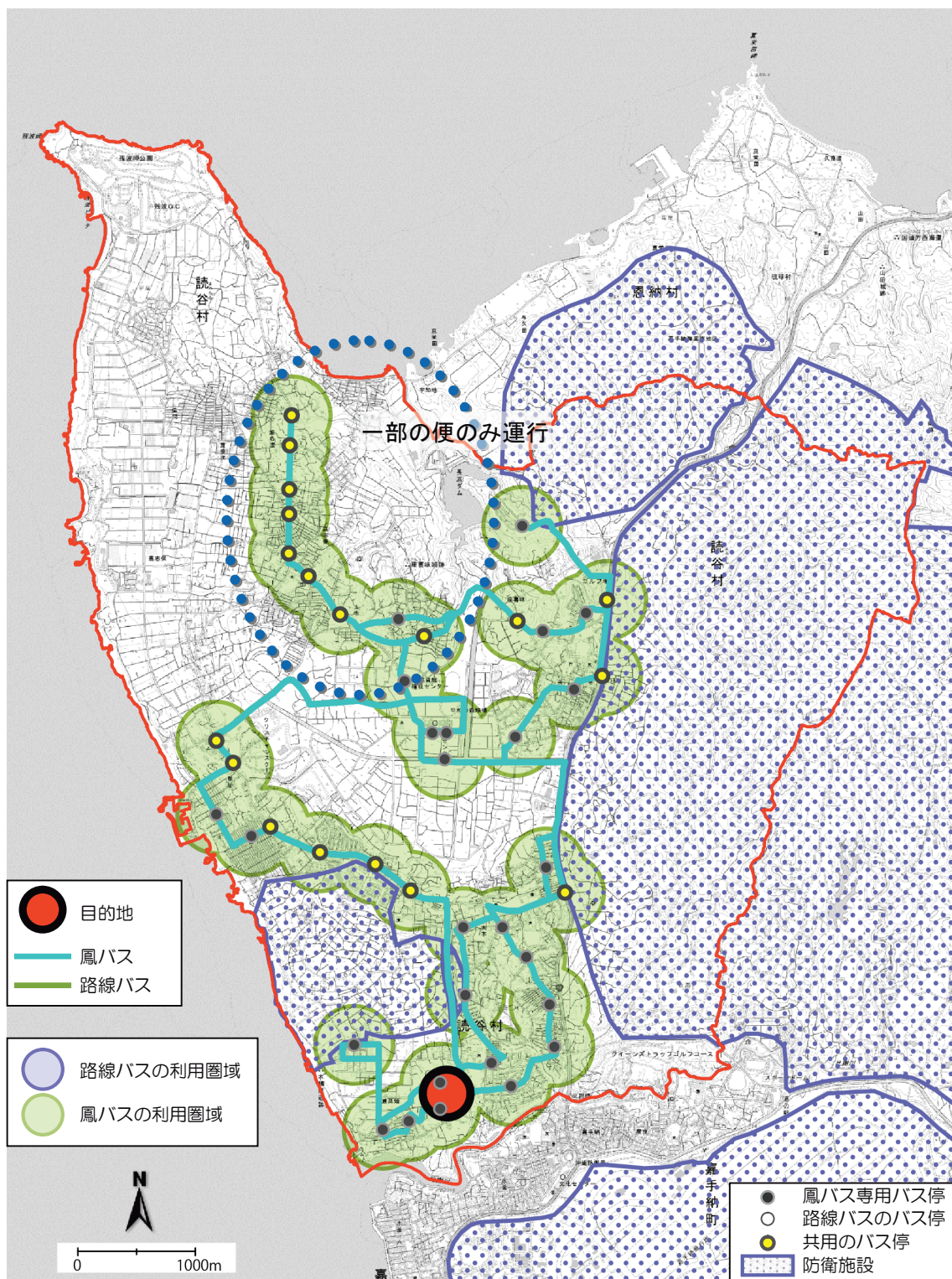


土休日の鳳バスは1系統のみで、村役場周辺はほぼ中間に位置している。

役場は平日のみの開庁となるものの、役場周辺の公共施設の多くは土休日も利用可能である。なお、休日南北ルートは「読谷村役場」バス停には停車しない。

1系統なので、カバーできるエリアは限定されている。利用圏域から外れているエリアのうち、一部地域では、路線バスとの乗り継ぎにより、遠回りながら役場周辺へのアクセスは可能となっている。

■イオンタウン読谷へのアクセス状況と公共交通空白地域（鳳バス：平日）

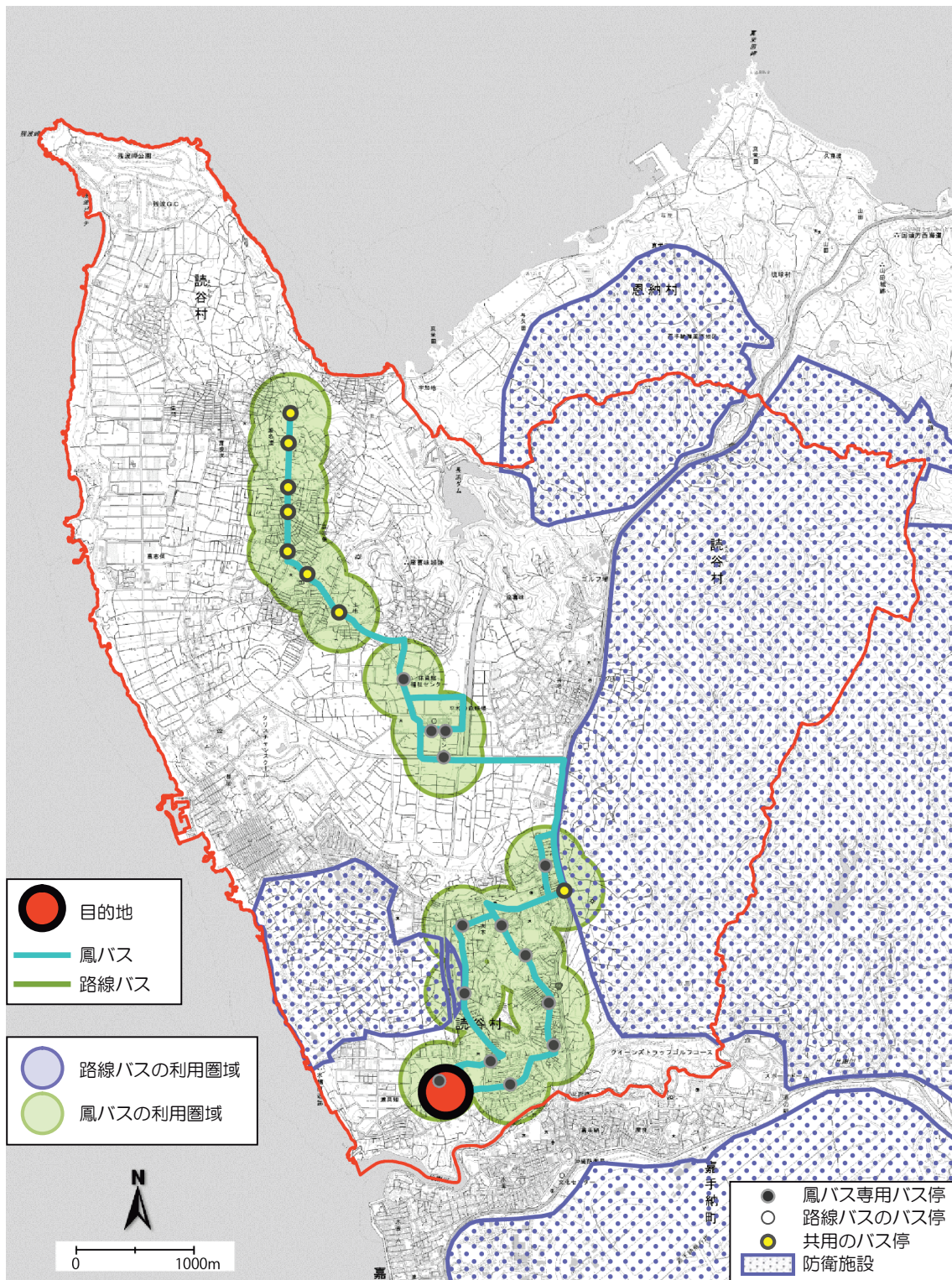


イオンタウン読谷ショッピングセンターは村内で最も大規模かつ集客力のある商業施設で、現在の鳳バスで役場周辺に次いで利用が多いバス停「イオンタウン読谷」がある。

平日の鳳バスは 3 系統のうち、「東西・南ルート（逆）」と「東西・南ルート（正）」の 2 系統がイオンタウン読谷を経由する。

なお、上図では村役場以北も利用圏域が続いているが、始発便・交代便・最終便のみの限定的な運行である。それ以外では、北ルートを利用し、村役場での乗り継ぎが必要である。

■イオンタウン読谷へのアクセス状況と公共交通空白地域（鳳バス：土休日）

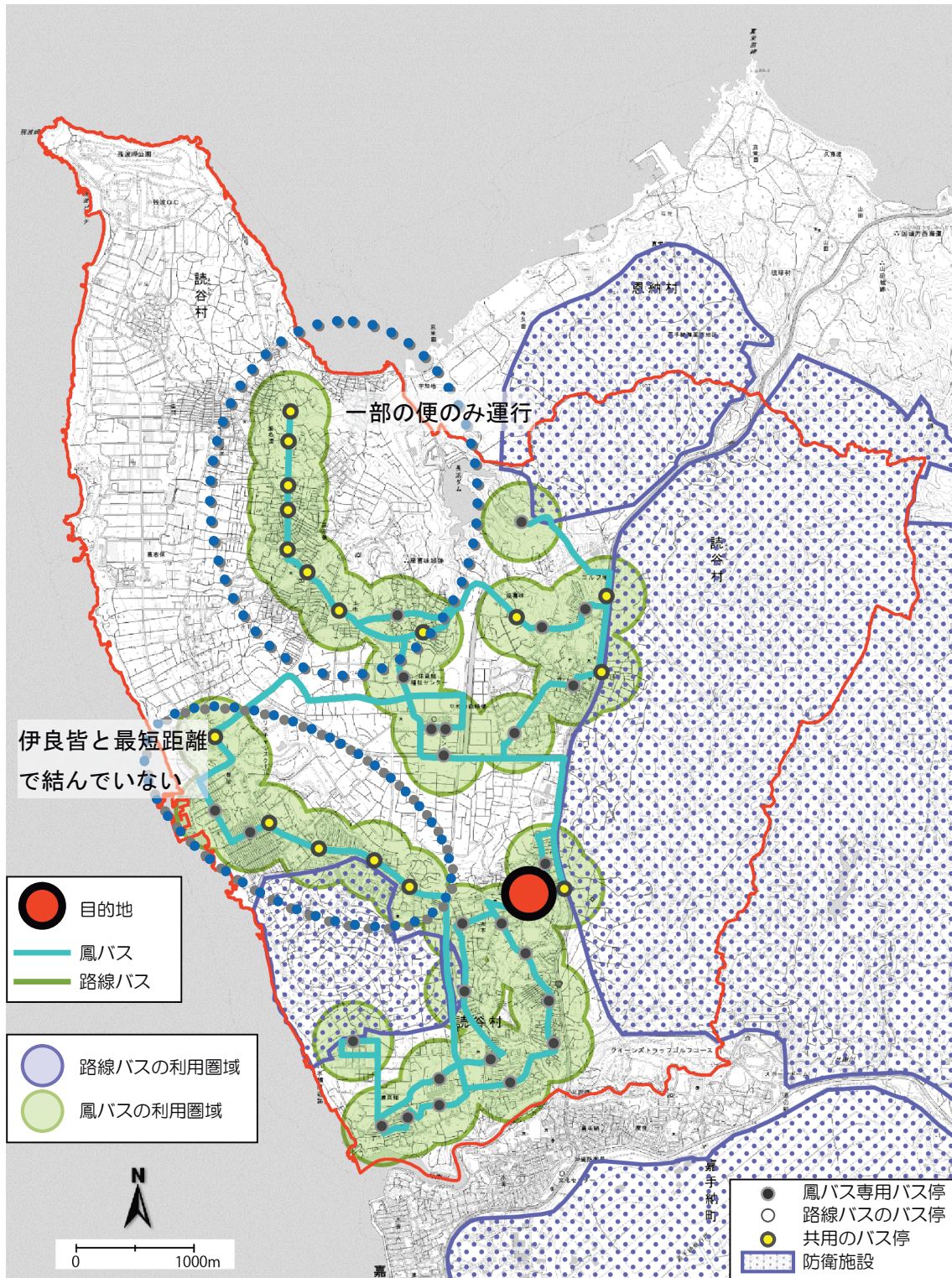


土休日の鳳バスは1系統のみで、「イオンタウン読谷」は南側の終着点であり、10分程度停車するダイヤとなっている。なお、休日南北ルートでは、「イオンタウン読谷」バス停が最も利用者の多いバス停であると考えられる。

1系統のため、カバーできるエリアは限定されている。利用圏域から外れているエリアのうち、一部では路線バスを利用し、伊良皆での乗り継ぎによりイオンタウン読谷へのアクセスが可能である。



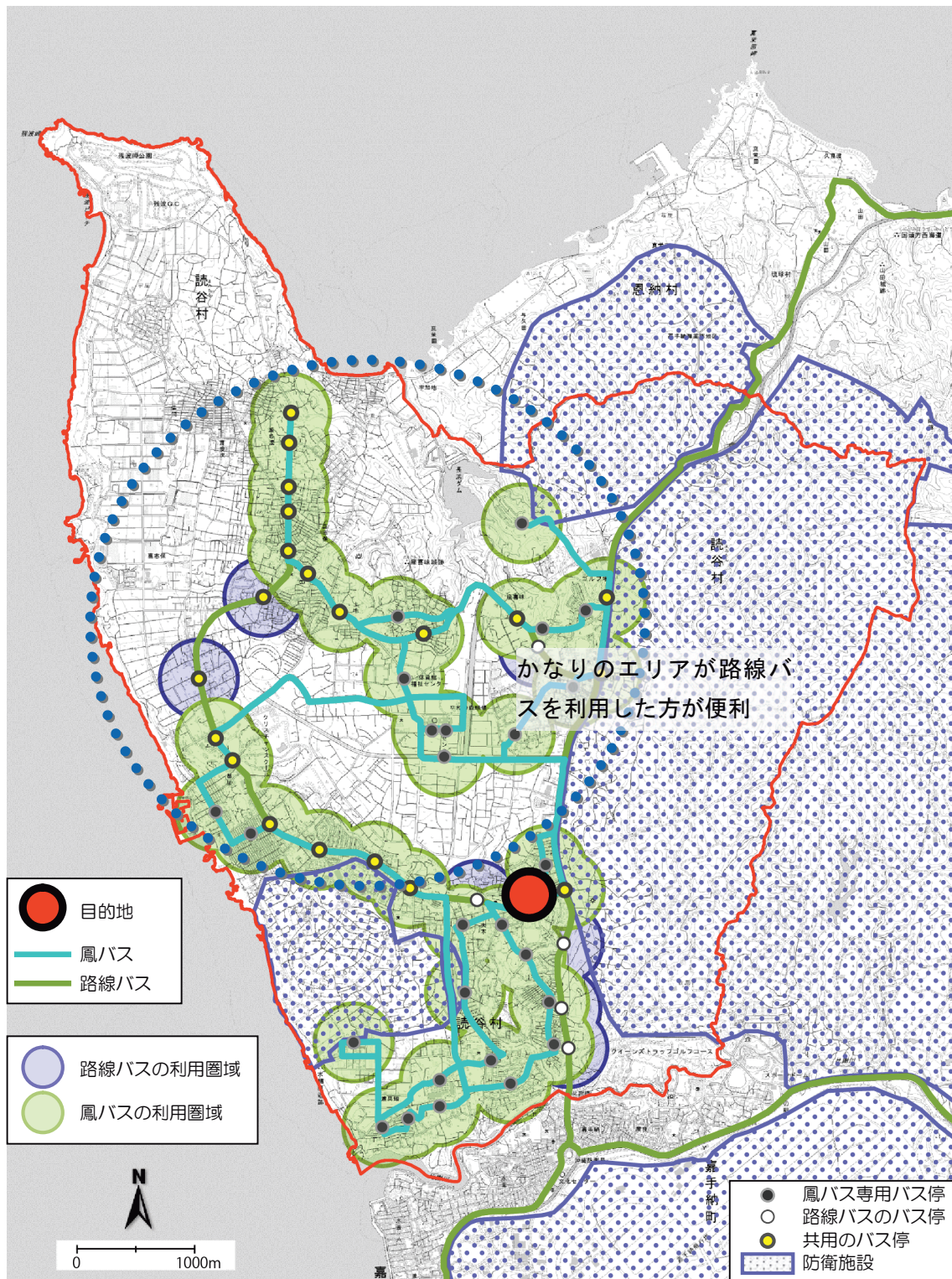
■伊良皆へのアクセス状況と公共交通空白地域（鳳バス：平日）



路線バスにおいて、伊良皆バス停は、本村の交通拠点といえる位置付けにあり、利用者が非常に多い。しかし、鳳バスでは、平日の3系統のうち、「東西・南ルート（逆）」と「東西・南ルート（正）」の2系統が経由するものの、利用者はあまり多くない。

なお、上図では村役場以北も利用圏域が続いているが、こちらも始発便・交代便・最終便のみの運行であり、路線バスを利用する方が現実的である。また、楚辺方面についても、「イオンタウン読谷」経由の迂回ルートとなるため路線バスの利用が便利である。

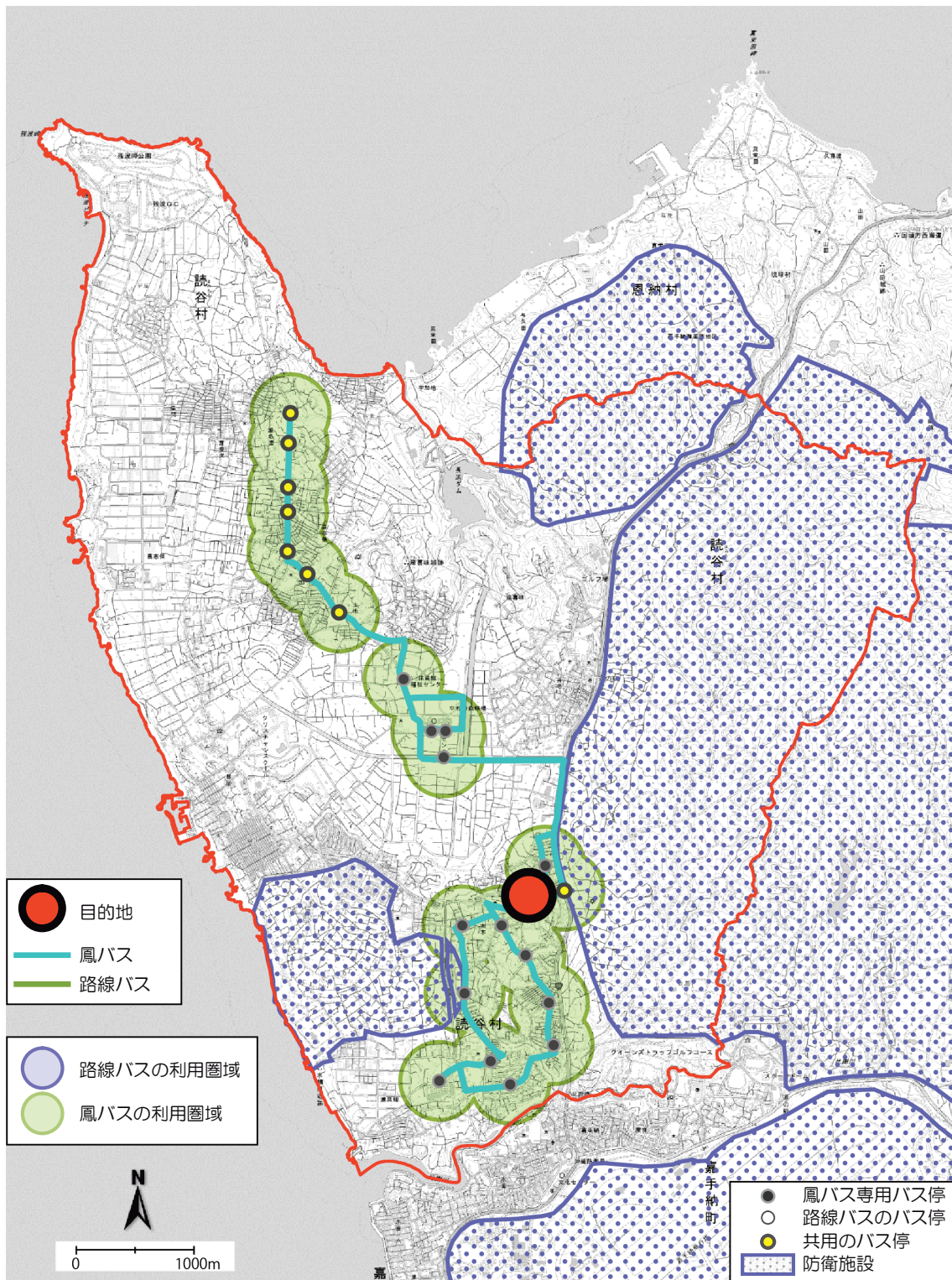
■伊良皆へのアクセス状況と公共交通空白地域（鳳バス+路線バス：平日）



平日の場合、伊良皆に直接アクセスできる鳳バスの利用圏域がかなり広がっているものの、実際は前頁のように利便性が高いエリアは限定されている。

一方で、路線バスが非常に充実しており、伊良皆へのアクセスとして鳳バスが利用しやすいのは、県道6号以南か、村役場周辺との行き来だけとなる。

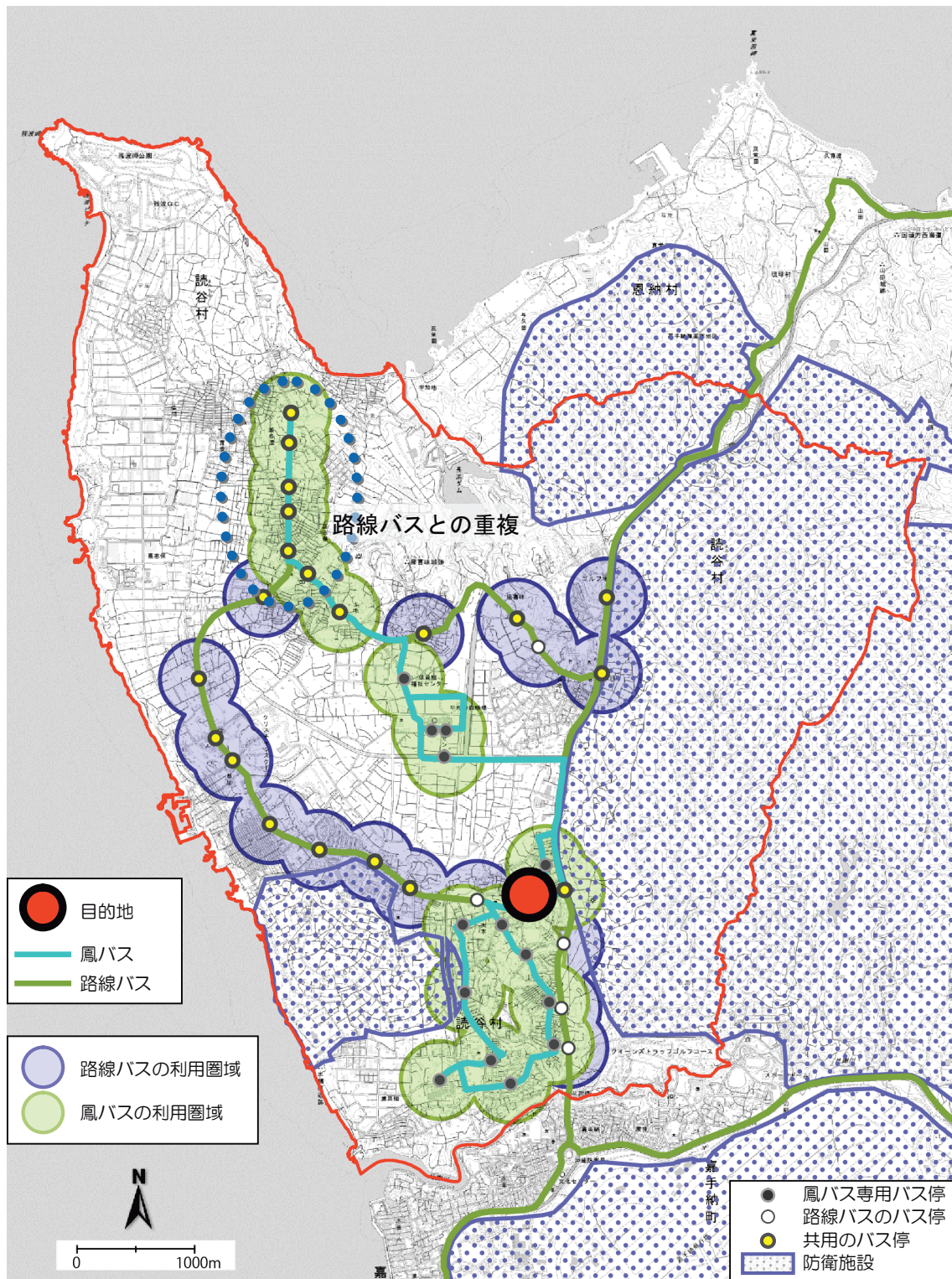
■伊良皆へのアクセス状況と公共交通空白地域（鳳バス：土休日）



土休日の鳳バスは1系統のみであるが、北部への直行ルートと南部の周回ルートの間であり、北部からは、平日よりも伊良皆へアクセスしやすい路線となっている、このため、公共交通空白地域図としては平日よりカバーできていないエリアが広いものの、北部からも利用しやすくなっている。

ただし、休日南北ルートは運行本数が少ないため、総合的な利便性は平日よりも劣ることになる。

■伊良皆へのアクセス状況と公共交通空白地域（鳳バス+路線バス：土休日）



伊良皆の場合、路線バスでカバーできる利用圏域が広く、利用圏域自体は平日と土休日で大きな差はない。ただし、系統 28 の運行本数は平日の 6 割程度となり、鳳バスの運行本数も少なく、利便性は低下している。

なお、対伊良皆では、「読谷バスターミナルー高志保入口」間が鳳バスと路線バスの競合区間となる。所要時間や本数では路線バスが、運賃では鳳バスが有利となっている。